



情報過剰な時代にあっては、人々の気がつかない意外性を見つけ情報発信することは重要である。前回、通常のウェブ検索による「意外性」の探し方について紹介したのに続き、今回は写真、イラストなどの画像を利用する方法について紹介する。

第四十六話 意外性を発見するための画像検索

ネット検索を行う場合、通常のウェブ検索よりも画像検索のほうが、便利な場合が多い。わざわざページを開かなくてよく、一目で内容が分かるからである。ただ、些細な差異に潜む意外性に、気がつく洞察力が求められる場合も少なくないが。

画像検索できるものは、人々が世の中で見えるものだけではない。数学の定理から生物の系統図、歴史上の人物の家系図や足跡図まで、人間が描いた図、表、イラスト、アニメにまとめたものまで、すべてが画像検索の対象となり得る。

このシリーズでも、第二十二話で画像検索について紹介してきた。筆者が研究テーマにしている「意外性のある情報」を探すのに、画像検索は簡単かつ有用である。それは、意外性のある写真や画像は、誰にでも判りやすいからである。

残念ながら、画像検索を活用している人は、現在までのところ、少ないように思われる。それは、現在の検索エンジンは、キーワードという文字を頼りに検索しているので、求める画像をぴったりと探すことが、難しいからである。

この画像検索の欠点を補って余りあるのが、「意外性の発見」のための利用である。この検索法は、多くの人が通常行っている検索とは、検索の方向性が逆なのである。通常の検索は、検索前に調べたい内容が既に決まっています、その内容を探しに行く。

しかし、「意外性の発見」は、探すものが事前には決まっていない、もしくはアバウトであり不明確なのである。世間の人々や自分も、よくわからない目新しい情報を探し回り、いろいろ調べていくうちに、結果的に発見されるものである。

この時点で、検索者自身が「意外性のある情報」と気がつき、「意外性のある情報」であることを、世間にも納得させるために、次の検索作業に移るのである。

意外性の発見に画像検索が活用できるようになったのは、デジカメやスキャナー

の普及、世界中の人々が SNS を利用するなど、ネットに膨大な写真が掲載されるようになったからである。勿論、画像の少ない領域では、難しい。

画像検索が「意外性の発見」が向いているのは、自分の知っているイメージとは違う画像を見つければよいからである。要は、似て非なる画像を見つけるのである。次に「意外性の具体的な説明内容」を調べる検索に進むのである。

さて、全国各地で夏祭りが盛んである。この祭りをテーマにして、なにか意外性のある話題を探すことにしよう。このためのアプローチとしては、次のように幾つかの基本的な方法がある。実際には、これらを組み合わせて利用する。

一つは、「画像を提供しているサイト」の利用である。二つは、検索エンジンを利用して、「祭り XXX、YYY」といった具合に、画像検索する方法である。三つは、ウィキペディアなどを利用して、「全国の祭り」や「世界の祭り」を調べて、「祭り」の範囲を絞り込んでから、画像検索に移る方法である。

最初の「写真素材を提供するウェブサイト」の利用では、サイト運営者が提供している場合や、ウェブ視聴者による写真投稿を募って提供している場合などの形態がある。この中から、適切なウェブサイトを見つけるのが、最初の作業となる。

画像を数多く掲載している「写真素材を提供するウェブサイト」では、多数の写真をカテゴリに階層化し分類している。たとえば、この中から、「祭り」の項目を見つけ、意外性がある「祭りの風景」を探すのである。

この方法は、多少面倒なので、グーグルで{写真素材 京都 祇園祭 鉾巡航}といった風に、「写真素材」というキーワード他を書き足せば、「写真素材提供のウェブサイト」の各サイト内にある写真を中心に、画像検索してくれる。この方法では、「祇園祭」、「鉾巡航」といった用語を書き足し、検索範囲を限定する必要が出てくる。

次のグーグル他の検索エンジンを直接利用する場合も、{京都 祇園祭 鉾巡行 稚児}といった具合に、キーワードを組み合わせる必要がある。すなわち、付け加えるキーワードを、情報を絞込むために、「祭り」に関する情報をネットから入手する必要がある。

三つ目の方法は、祭りに関する情報提供サイトを事前に調べる方法であり、その簡単な方法としてネット上の大事典「ウィキペディア」ほかで、情報の絞込みとキーワードの入手を行う。ここで見つけたキーワードを用い、次に、画像検索に移るのである。

さて、「意外性の発見」であるが、たとえば、京都の「祇園祭」に祭りの焦点を絞ったとしよう。ウィキペディアで「祇園祭」を調べてみると、「祇園祭」は京都だけでなく、全国各地で行われてきたことがわかる。多分、世間の多くの人々は、この事実を知らない？

だとすれば、愛知の豊橋祇園祭、千葉の成田祇園祭、福岡の博多祇園山笠などの全国の祇園祭を、比較分析していけば、京都の祇園祭だけでは知り得なかった、日本の祇園祭の起源と日本人の信仰の意外な素顔を、世間に紹介できる情報が得られるかもしれない。タイトルは、「全国にも祇園祭、原点は無病息災を祈る御霊会だった」とでも。